

令和6（2024）年度 学校経営方針

江戸川区立下鎌田東小学校

校長 山本浩一

1 区立学校として期待される学校像

- 笑顔と活力にあふれ、児童一人一人が自分のよさを発揮できる学校
- 全ての教職員が協働し、質の高い教育活動の実現を目指す学校
- 保護者・地域の方々に信頼され、集いの中心となる学校

2 教育目標

◎考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

※令和6年度の重点「考える子」

「考える子」・・・生涯にわたって学ぶ意欲をもち、生きる力の基となる考える力を育成する

「思いやりのある子」・・・自分も相手も大切にし、豊かでしなやかな心を育成する

「たくましい子」・・・健康な体をつくり、粘り強くやり抜く力を育成する

→社会の変化に対応し、自らの力で未来を切り拓き、新しい価値を創造できる力の育成

3 教育目標達成に向けた具体的な取組

（取組1）確かな学力の育成

江戸川区全体の目標

2026年度（令和8年度）の「全国学力・学習状況調査」で

☆正答数四分位の分布におけるC・D層の児童・生徒割合について、都と区の差を解消する。

☆江戸川区立学校の平均正答率が、東京と全体の平均を上回る。

- ①「誰一人取り残さないための学力向上に向けたアクションプラン」を活用し、基礎学力の定着・向上を図るとともに、学力調査等での課題の分析を生かし、日々の指導の改善・充実に努める。
 - ・学力向上プロジェクトチームの取組推進
 - ・放課後補習教室の実施・有効活用
 - ・電子ドリルや「東京ベーシック・ドリル」、「よむYOMUワークシート」の活用推進
 - ・「江戸川っ子 study week!」の実施（6/17～6/23 11/25～12/1 2/17～2/23）
 - ・SNS 東京ルール、「東っ子タブルール」の活用
 - ・ALT（外国語指導助手）と連携した外国語教育の充実
- ②「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を図り、自ら進んで学ぶ態度を育む
- ③読み解く力・表現する力を育成する（仮）（校内研究 国語科）
- ④一人1台端末（iPad）を活用した個別最適な学びの実現を図る
- ⑤読書科の更なる充実と区立図書館との連携強化

- ・「江戸川っ子 読書科コンクール」への参加（小学生の部 第5学年・第6学年1点）
- ⑥教師の専門性を生かした教科担任制を実施する
- ・中、高学年を中心に理科、社会、体育等で教科担任制を計画し実施する

（取組2）自分も友達も大切に教育の推進

- ①江戸川区子どもの権利条例の理解を進める
- ②教育活動全体を通して人権教育、道徳教育を進める
- ・人権課題やSDGsの推進への取組
 - ・道徳授業地区公開講座の実施 6/15
- ③いじめ・不登校、問題行動の未然防止、適切・迅速な組織的対応を図る
- ・生活指導夕会での情報交換
 - ・「わたしの学校生活を振り返るアンケート」や面談の実施
 - ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、外部機関との連携
 - ・一人1台端末を活用した、やむを得ず登校できない児童とのオンライン面談・授業
- ④豊かな集団づくりを進める
- ・「hyper-QU」の活用
- ⑤異学年交流を推進する
- ・「なかよし班活動」の実施
- ⑥キャリア教育を推進する
- ・キャリアパスポートの実施

（取組3）体力向上、健康・安全教育の推進

- ①基本的な生活習慣を育てる
- ・年間2回のあいさつ週間や日常的な給食後の歯みがきの取組の推進
- ②体力の向上に向けた取組の充実を図る
- ・体力テストの結果・考察をもとにした体育学習の工夫・改善
 - ・「江戸川っ子なわ跳びチャレンジウイーク」「持久走週間」「なかよし班遊び」の設定
- ③健康の保持・増進に向けた取組の充実を図る
- ・「食に関する指導の全体計画」に基づいた授業等の実施
 - ・食育の推進
- ④安全教育・防災教育の徹底を図る
- ・毎月の避難訓練の充実
 - ・セーフティ教室、交通安全教室、自転車教室、不審者対応避難訓練、引き渡し訓練の実施
- ⑤事故防止を徹底する

(取組 4) 共生社会の実現に向けた教育の推進

- ①特別な配慮を必要とする児童への支援体制の充実を図る
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援委員会の活性化
 - ・エンカレッジルームの活用促進
 - ・巡回指導教員や特別支援教室専門員、スクールカウンセラー、巡回心理士、介助員、保護等との連携強化
- ②UD（ユニバーサルデザイン）の視点から教室環境、教材・教具等を整備する
- ③学校 2020 レガシーを推進する
 - ・障害者理解を深める取組～パラスポーツ体験 オリンピック・パラリンピックアスリートとの直接交流 等
- ④LGBTQ についての理解促進

(取組 5) 教職員の資質・能力の向上、校務改善に向けた取組の推進

- ①学校運営、教育活動の改善・充実に努める
- ②教職員としての専門性の向上に努める
 - ・自己研鑽に励む
- ③OJT、校内研究を推進する
 - ・中堅教員が若手教員を育成する体制の構築
 - ・校内研究への積極的な取組
- ④業務の効率化、「働き方改革」を推進する
 - ・副校長補佐、非常勤教員、スクールサポートスタッフ、学年アシスタントの活用
 - ・校務のデジタル化推進による情報共有・業務の効率化
 - ・月 2 回の職員定時退勤日の設定（学校全体 1 日 学年ごと 1 日）
 - ・最終退勤時刻 20 時

(取組 6) 家庭・地域との連携・協働の推進

- ①家庭や地域の方々との連携を推進する
- ②学校の情報を積極的に発信し、教育活動への理解を深めていただくよう努める
 - ・学校ホームページや各種たよりの充実
 - ・学校公開の実施（年間 4 回 6/14～15 9/14 10/12 1/18）
- ③小中連携教育を推進する
 - ・小中連携教育の日 6/27：瑞江第三中学校（未定）
2/28；江戸川小学校研究発表会
 - ・中学校部活動体験（6 年）7/2
- ④保護者や地域の方々の声を受け止め、教育活動の改善・充実を進める
 - ・学校関係者評価の充実
 - ・WEB を活用したアンケートの実施